

写真の投稿が招く思いもしないリスク

SNSに個人情報を載せないということは、多くの人が分かっていることと思います。しかし、自分が写っていない写真を投稿する人もいるかもしれません。その写真、本当に安全でしょうか？

個人情報とは関係のない写真に見えるけど・・・



どんなに気をつけていても、投稿される写真には、その人の特徴が表れ、行動範囲などが分かってしまうこともあります。例えば、左の写真であれば、限定コラボメニュー実施店舗とご当地マンホール、風景等を組み合わせることで、ある程度の地域をしぼることができます。また、自分とつながっているフォロワー（友人）の投稿と組み合わせることで、より地域が限定されることもあります。つまり、名前や自撮り写真を投稿したわけでもないのに、個人情報がもれてしまうこともあるということです。

個人情報がもれる危険性とその対策

住んでいる地域や通学している学校が分かることで、つきまとい等の被害にあってしまうことがあります。また、投稿された写真から趣味等の特徴が分かり、ネット上でなりすましの被害にあってしまうこともあります。

このような被害にあわないためにも、個人情報の取り扱いには注意が必要です。名前や自撮り写真だけではなく、関係のなさそうな写真でも、組み合わせることで個人情報になるということを知っておきましょう。特にプライベートな情報については、閲覧者を特定し、公開を一部だけにする等の工夫が必要です。



ポイント

- ・名前や自撮り写真でなくても、個人情報がもれてしまう危険性についてきちんと理解しておく。
- ・閲覧者を限定し、特定の人とだけ共有する等の工夫をする。

©ていたん,北九州市

「北九州市SNS悩み相談」

チャットで学校やお家での悩みなどを
カウンセラーの人に「相談すること」
「学校に知らせること」の2つができるので、困ったときは利用してね。

LINE



Web【相談する】



【学校に知らせる】

